



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について
交通バリアフリー教室報告書配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
あふネットの取り組み点訳版、音訳版の貸出について（あふネット）
船員研修用ビデオ、DVDの販売について（(社)日本旅客船協会）
“合宿型”移送サービス運転協力者講習会のお知らせ（東京ハンディキャブ連絡会）
ひょうご福祉移送サービス運転協力者研修会のお知らせ（東京ハンディキャブ連絡会）
- (3) エコモからのお知らせ
事務所が移転しました
手話教室を開催します
情報誌「旅ばりっ！（創刊号、第2号）」を配布しています
らくらくおでかけネット“ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅を掲載”
公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
交通バリアフリー法基本構想策定状況
- (5) 各種催し物のお知らせ
第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004
アクセシブルデザインフォーラム
第14回シルバーサービス展
バリアフリー2004
アクティブヒューマンライフ2004
駅・まちづくりフェア
ひまわりプラザ資料室横浜電子情報センターからのお知らせ
- (6) その他
書籍に関して
記事募集中
お願い（必ずお読みください。）
・転送先について
・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集い(平成15年11月14日開催)の当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー教室報告書配布について

平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー教室の報告書を作成しました。なお、現在は国土交通省地方運輸局が主催されています。ご希望の方は、ご連絡ください。

FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

あふネットの取り組み点訳版、音訳版の貸出について(あふネット)

荒川区で活動しているあふネットより、基本構想の独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版と、あふネットの取り組みは4冊組、音訳版は10本組となっております。貸出ししておりますので、ご希望の方はご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

船員研修用ビデオ、DVDの販売について((社)日本旅客船協会)

(社)日本旅客船協会では「旅客船の接客サービス」に関する船員研修用ビデオ、DVDを作成いたしました。全3巻 1.旅客船の接客サービス、2.操練の重要性、3.緊急時の対応ビデオは各1,700円、DVDは6,500円(3枚組)、送料は別途実費となります。

お申込み・お問い合わせは、社団法人日本旅客船協会、河内、TEL03-3501-6766、FAX03-3580-7842

“合宿型”移送サービス運転協力者講習会のお知らせ(東京ハンディキャブ連絡会)

高齢者・障害者の日常生活における移動を支援する目的で行われる移送サービスについて、国土交通省では、ガイドライン策定を検討しており、4月1日から実施されることになっています。このガイドラインの中で、「安心・安全」の担保として、活動する運転協力者の方の技術・知識の向上がもためられています。私たち移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会では、この問題に対応するためにいち早く全国共通のテキストを使用し、統一した講習内容で運転協力者講習会を開催し、運転協力者の皆さんの技術と知識を高め、移送サービスにおける安全と安心の向上を図っております。2004年度から、より多くの運転協力者の皆さんにこの講習会を受講していただくために、合宿形式で、2カ月に1度定期開催することにいたしました。

開催日:4月10日(土)~11日(日) 以後、6月、8月、10月、12月、2月に開催予定

会場:津田山オートスクエア セミナーハウス 神奈川県川崎市高津区下作延1823

定員:毎回40名

普通自動車免許を有し、ボランティア団体やNPO法人等、市民活動による移送サービス実施団体で、運転協力者として活動しているか、活動を始めようとしている方。

参加費:17,000円

受講料、テキスト代、土曜の夕食、日曜の朝食、昼食、宿泊費、保険料を含む。

締切:年4月2日(4月10日開催分)

問合せ:移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

〒162-0828 東京都新宿区袋町2-4 岡田ビル2F TEL&FAX03-5261-9009

E-mail accessible-tic@pop16.odn.ne.jp

ひょうご福祉移送サービス運転協力者研修会のお知らせ(東京ハンディキャブ連絡会)

この研修会は、県内の移送サービス活動に従事する運転手を対象に、「移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会」が推奨する全国的に統一された講習内容を受講頂き、ガイドラインが要求する安全な移送サービスの運行について研修することを目的に開催します。

日 時：4月10日(土)13:00~17:00、4月11日(日)10:30~17:00
会 場：市営豊岡自動車教習所 兵庫県豊岡市日撫312
対象者：兵庫県内で移送サービスを実施する団体(有償・無償は問わない)の運転手。
実施主体の形態は問わない(社協・NPO・ボランティアグループ等)
定 員：30名
参加費：3,000円 教本・イベント障害保険代
問合せ先：兵庫県移送サービスネットワーク
〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島638 江井島作業所内
TEL078-946-6711 FAX078-947-8875 E-mail hyogo.iso-net@nifty.com

高齢者を対象とした移送サービスの学習会() (東京ハンディキャブ連絡会)
2003年4月より施行された構造改革特別区域での「NPOによるボランティア輸送についての有償運送可能化事業」の結果をふまえて、2004年3月16日に国土交通省により「福祉有償運送及び過疎地有償運送に係る道路運送法第80条第1項による許可の取扱い」(通称:「ガイドライン」)が通達されました。学習会()は、この「ガイドライン」をテーマにします。
日 時 2004年4月24日(土) 13:30~16:30
会 場 千葉県福祉センター 5階研修室 千葉県千葉市中央区千葉港4-3
JR京葉線千葉みなと駅下車徒歩10分 千葉モノレール市役所前駅下車徒歩3分
対 象 移送サービス実施団体(ボランティア、NPO法人、社会福祉協議会等)の関係者、
または移送サービスに興味のある方。
内 容 「移送介護とガイドラインの対応について」阿部司氏(東京ハンディキャブ連絡会代表)
「送迎に関するリスクマネジメントと保険のポイント」他
参加費 500円(資料代)
申込み・問合せ先 東金ケアさわやか
〒283-0834 千葉県東金市上布田351 TEL & FAX0475-55-9700

(3) エコモからのお知らせ

事務所が移転しました

当財団の事務所が、3月27日(土)に移転しました。新しい事務所は、市ヶ谷駅から近くなります。新しい住所は下記の通りです。なお、電話番号の変更等はありません。

新住所 〒102-0076 千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階

電話番号 パリアフリー推進部 03-3221-6673

FAX番号 03-3221-6674

お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。

手話教室を開催します

聴覚に障害のある方と交通事業者の方々とのコミュニケーションを図るため、手話教室を開催します。内容は次の通りです。

- ・対象者と人数：交通事業に従事している方等を対象とします。25名程度
- ・開催期間：平成16年4月後半~9月後半=6ヶ月間、20回(1週間に1回程度)
当初は手話初級教室、10月以降は初級と中級~
- ・開催時間：18:30~20:30
- ・受講料：8,000円(講習20回分)。ただし、賛助会員は無料。
- ・場 所：エコモ会議室(市ヶ谷駅5分) 千代田区5番町10番地 5番町KUビル3階
- ・お問合せ・お申込み先：交通エコモ財団パリアフリー推進部 岩佐
TEL03-3221-6673 FAX03-3221-6674 E-mail:t-iwasa:ecomomo.or.jp

らくらくおでかけネット“ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅を掲載”

ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されました。現在は、鉄道駅3,598 駅、空港74、バス153、旅客船437ターミナルの情報を提供しています。平成15年度の1日平均アクセス件数は、1,707件でしたが、最近1週間のアクセス件数は、3,619件と大きく増加しています。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>
(携帯版=i-mode,j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>
(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

情報誌「旅ぱりっ!(創刊号、第2号)」を配布しています

特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが発行する「旅ぱりっ!(創刊号と第2号)」をご希望の方にお送りします。伊勢志摩方面のバリアフリーガイドとして、駅、飲食店、宿泊、レジャー情報が満載です。今回新たに第2号もございますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

FAX03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組みされる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況(平成16年3月まで)

基本構想を作成済みの市区町村 118市町村(123基本構想)

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。 <http://www.mlit.go.jp/>

(5) 各種催し物のお知らせ

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

日程:平成16年5月23日(日)~26日(水)

場所:浜松市 アクトシティ浜松(JR浜松駅より徒歩3分)

問い合わせ先:〒102-0076 千代田区五番町10番地 五番町K Uビル3階

交通エコロジー財団内事務局 tel:03-3221-6673 fax:03-3221-6674

E-Mail:info@transed.jp、d-sawada@ecomomail.or.jp

現在、会議への参加と、展示会場への参加を募集しています。

バリアフリー2004 <http://www.itp.gr.jp/bf/>

日程:4月22日(木)~24日(土)

場所:インテックス大阪

参加費:無料

アクティブヒューマンライフ2004

日程:7月1日(木)~3日(土)

場所:パシフィコ横浜 点字ホールC・D アネックスホール

参加費:無料

駅・まちづくりフェア <http://www.noma.or.jp/stf/index.html>

日程:7月14日(水)~16日(金)

場所:東京ビッグサイト西展示棟西3・4ホール

ひまわりプラザ資料室横浜電子情報センターからのお知らせ

ひまわりプラザでは、社会環境の向上や福祉学習支援につながるよう、IT技術応用してハ

ンディキャップのある人を支援する活動をしています。みなさまのご協力が欠かせない分野も多々あります。このような「善意のちから」の窓口となるよう、「ボランティアネット」を設けました。「ボランティアネット」は高齢者や障害のある人、また支援や介助をする人（家族も含めて）など、様々な人々が利用できる「共有資源」となるものです。ボランティアネットについてはこちらをご参照下さい。 <http://jmhsc.no-ip.org/info/vn/v-net.htm>

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思います。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

コラム

4月1日、63年間にわたり「営団地下鉄」として親しまれてきた帝都高速度交通営団が民営化により、東京地下鉄株式会社として再スタートします。

愛称も「東京メトロ」となり、駅員さんの制服もオリーブ色から、濃紺色になるとのこと。また、駅名に番号がついて、外国人等にも分かりやすくなる。さらに、お客様センターや主要駅でのサービスマネージャーの配置など案内サービスも充実が図られるとのことである。まさに利用者の視点に立った施策が展開されます。

先日、CEN/CENELEC ACTS WS16 の議長のマーガレットエリス氏を迎えるため、京王プラザホテルへ伺ったときに、同ホテルの中村さんからバリアフリールームの視察案内を受けた。これまで、われわれもいくつかのホテルのバリアフリールームを拝見させていただいたが、あまり聴覚に障害のある方、視覚に障害のある方の対応がなされていない。同ホテルは車いすの方の利用は無論のこと、ドアチャイムに対応した部屋内ライト点滅、ホテル貸し出しの端末による音声案内などすべての方を対象に対応がなされている。また、このような部屋数も多く、宿泊代も一般の料金と同じとのことである。

是非、一度泊まって体感してみたいくなります。